

土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調 査 名 火の山川 通常砂防事業に伴う測量・地質調査・設計業務委託

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象 砂防 砂防

ボーリング名		Bor. No. 2		調査位置		広島県山県郡北広島町中山地内		北緯		34° 44' 11.3086"					
発注機関		広島県西部建設事務所安芸太田支所				調査期間		2019年 12月 12日 ~ 2019年 12月 14日		東経		132° 29' 52.5964"			
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者							
孔口標高		T. P. 450.09m		角 度				方位				使用機種		試験機 東邦D0-C	
総削孔長		11.00m		エンジン		ヤンマー-NFD13		ポンプ		東邦BG-3C					

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記 事	孔内水位 / 測定月日	標準貫入試験						試験採取	室内位置試験	削孔月日		
												深度-N値図									深 度 (m)	試 料 番 号
1	148.99	1.10	礫混じり砂	玉石	暗褐色					表層10cmは旧耕作土と推測される。 φ10~30mmの亜角~亜円礫を10~20%混入する。 基質はシルト混り粗砂~細砂で含水は小である。 L=40cmの硬質玉石からなる。	12/13 3.80	N	深 度 (m)	100mmごとの打撃回数	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量	深 度 (m)	試 料 番 号	採 取 方 法	採 取 試 験	削孔月日
2	148.54	1.55	礫混じり砂		褐色	rd2				φ10~50mmの亜角~亜円礫を20~30%混入する。 基質は未固結なシルト混り中砂~細砂で、含水は小~中位である。 深度3.0~3.5m付近は礫が少なく粘土分を多含する。	12/16 3.80	13	1.60	3	4	6	13					12/12
3	146.29	3.80	砂 礫		褐色	rd3				φ10~60mmの亜角~亜円礫を30~50%混入する。 基質は未固結なシルト混り中砂~細砂で、含水は小である。		14	2.45	4	3	7	14					
4	144.99	5.10	強風化花崗斑岩		褐色					指で砕ける土柱状コア (礫混り砂状)で、岩石組織はやや不明瞭である。岩芯まで褐色となるDII級岩盤。		27	3.10	1	1	1	3					12/12
5	143.09	7.00	強風化ひん岩		淡緑褐色					指で何とか砕ける固結マサ状コアで、岩石組織はやや不明瞭である。深度7.5m付近~8.0m付近は粘土化する。岩芯まで褐色となる。DII級。		54	4.15	11	10	6	27					
6	142.09	8.00	風化花崗斑岩		褐色					ハンマー軽打で濁音する角礫状コア主体。岩石組織は明瞭。岩芯まで褐色となるDII級岩盤。		49	5.15	12	18	20	50					
7	141.59	8.50	風化花崗斑岩		褐色					ハンマー軽打で、一部濁音する部分を挟むが、概ね金属音がする片状~短柱状コアを主体とする。 岩石組織は明瞭で、亀裂面沿いのみ褐色となる。CI級岩盤。		22	6.15	12	16	21	49					
8												107	7.15	5	7	10	22					12/13
9													7.45	28	22	40	50					12/14
10													8.05	10	10	140						
11													8.19	貫入不能	貫入不能	50						
													9.00	貫入不能	貫入不能	50						
													9.00	貫入不能	貫入不能	50						
													10.00	貫入不能	貫入不能	50						
													10.09	貫入不能	貫入不能	50						
													11.00	貫入不能	貫入不能	50						
													11.00	貫入不能	貫入不能	50						